

北大江地域では、「たった今大災害が起こったら何ができるか」を確認するため、災害時避難所に指定されている大手前高校と中央高校とで、**臨機の役割分担**などによる実習を行っています。2019年は7月16日(火)と7月30日(火)に実施しました。大手前高校では定時制と合同で実施しました。

北大江地域活動協議会、北大江連合振興町会、北大江地区まちづくり実行委員会

大手前高校実習 (7月16日(火)18:00~20:00)



通用門前で集し、地域で預かっている鍵を使って隊長が鍵開け進入し、長机を運んで受付を設営しました。



受付済シール・カード記入の体験をし、担当任務の分担をし、定時制高校生と合流し、ゼッケンをつけました。



本部、受付、情報、設営、衛生、電源・照明、救護、消火、物資・食料の各グループに分かれて、任務の体験をしました。



それぞれのグループから活動体験を報告し、最後に全員でふり返りをしました。

中央高校実習 (7月30日(火)18:00~20:00)



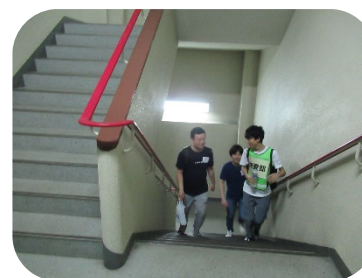
隊長・副隊長を決め、備蓄物資庫から受付物資や本部物資を運び出し、受付をスタートしました。



受付で受付済シールをつけ、役割分担後それぞれのゼッケンをつけ、任務体験をしました。



参加者が少なかったため、日赤指導員や中央区役所の指導で応急救護体験や簡易トイレ体験曾したり、7,8階の屋内避難場所の確認をしたりしました。



体験後に本部で活動報告し、かたづけた後会議室で全員でふり返りをしました。

裏面にふり返りの時に作成した役割実施記録の概要を載せています。

大手前高校は北大江地区の端の方にはありますが、地域が預かっている鍵があれば、段差なしで屋内避難場所に行けます。中央高校の屋内避難時場所は7階より上にあり、要支援者の方でなくても避難に苦労します。いずれも食糧の備蓄は300食だけ、トイレの事情もよくありません。こういったことを念頭において、家族や従業員の安全を守る備えをしてください。

問合せ先：北大江まちづくり実行委員会委員長&北大江地域活動協議会事務局長&
北大江連合振興町会災害救助部長&船越町1丁目町会長 吉見孝信 6941-4992

2019 災害時避難所実習 at 大手前高校 役割実施記録から 令和元年 7 月 16 日 (火) 18:00~20:00 at 大阪府立大手前高等学校

班	役割	指摘事項
隊長 副隊長	・避難所開錠・受付 ・物資庫・ポンプ庫開錠 ・役割分担 ・本部運営	・今回の受付場所の周りにガラス窓があり震災時の割れが気になる。周辺に広く飛び散る。 ・鍵管理副隊長が開錠する前に物資庫、ポンプ庫の鍵が開いていた。早く鍵開けするには手訳が必要。 ・役割分担から高校定時制と合流しての活動開始へとスムーズに進んだ。
受付・案内班	・受付運営・案内 ・要配慮者付添い	・受付シートにはクリップボードが必要。時刻ごとにシートを分けた方が整理しやすい。 ・シールに記入されていないのに区役所から男女年齢別を聞かれた。→緊急対応時はわからなければそれでよい。 ・近年性別を聞きにくくなっている。所属の書き方が任意なので控がわかりにくい。 ・受付表示はテーブルに下げるのではなく高い位置が良い。 ・今回は要配慮者が集まってから避難場所に誘導したが、本番では判断が必要。 ・車いす利用者は下り坂の様子や段差が見えにくいので誘導時に声をかける必要がある。
情報班	・防災無線 ・掲示板設置・記入	・事務室の無線機はつながりにくく、区役所準備のものを使用。電波状況は十分ではないが、受付付近で通話を確保。 ・ゆっくりと会話しないとメモを取り切れない。 ・取扱説明書に音量調整など初歩的な操作の記載がなく戸惑いがあった。 ・ラジオに備蓄の電池を装着したが起動せず、事務局準備の電池で起動した。
設営班	・避難場所開錠・設営	・高校の先生が場所をよく知っておりスムーズに鍵開けできた。要配慮者を誘導する柔道場の扉が片側しか開かない。 ・案内表記はその場で書けるような準備が必要。 ・特設公衆電話端子の位置が高く前にごみ箱が置いてあった。3つの端子のうち真ん中を使ったが繋がらなかった。
衛生班	・トイレ管理 ・簡易トイレ設営	・トイレのテントはチャック式なので使用中かどうかかわりにくい。 ・大手前高校では屋外の多目的トイレと男女便所に洋式便器があるのでこれを簡易トイレとして使うのが現実的。
電源・照明班	・照明設置・点灯	・LED投光器、スマホ充電器等新規備蓄機材も設置し作動を確認した。使用後のガス抜きを確認した。 ・発電機はカセットポンペを2本とも装着しないといけないが、どちらがはまっていないかわからず使いづらい。
救護班	・けが人応急救護・搬送	・緊急治療が必要な人の見分け方が役立つ。…「痛い、痛い」という人よりいえない人の方が重篤。 ・けが人を持ち上げる際の指導があつてよかった。
消火班	・可搬式ポンプ体験	・消防署の指導により体験。暗くなった時に手順がわかるような備えが必要。逆ねじ操作はなくすか、大きな表示を。 ・30分では操作の習得は難しいので、市民消防教室や消防体験教室を受けてほしい。
物資・食料班	・備蓄食料管理	・高校生が物資を運んだのでスムーズだった。 ・できるだけ番号が見えるように積み直したが、物資が多く探しづらい。

○ 全般

- ・ 合同実習により教職員も学生も災害時の状況を実感できたのではないかと。教職員や学生は帰宅困難者であり、有志でどこまでするか考える必要がある
- ・ ふり返りの意見交換で様々な課題がわかるので、これを活かして次につなげていく必要がある。
- ・ 実習で起こるような混乱や不具合が実際に起こる可能性があり、その場合は自分のアイデアで乗り切る必要がある。

○ 総評

- ・ 昨年は初めての合同実習で混乱や戸惑いが見られたが、今年は連携がスムーズで、先生のリーダーシップによる学生の活動力が目立った。消防署による放水指導、日赤指導員による応急救護・けが人搬送指導など、画期的な展開もあり良かった。

2019 災害時避難所実習 at 中央高校 役割実施記録から 令和元年 7 月 30 日 (火) 18:00~20:00 at 大阪市立中央高等学校

班	役割	指摘事項
隊長 副隊長	・避難所・物資庫鍵開け ・受付設営・役割分担 ・本部運営	・物資庫の鍵が簡単に開くようになった。 ・受付済シールがはがれやすい。一昼夜持たない。控シールは良いとして、ガムテープが良いのでは。 ・北大江公園担当副隊長以外、全員で行動。
受付	・受付運営・記録 ・要支援者案内	・受付で男女ぐらいいは分けた方が良い。⇨聞かれるのを嫌がる人もいる。 ・聞き取り代筆。停電時には使えないが、エレベーターで7階の避難場所と便所へ行った。車いすで便所は使えない。 ・人員にゆとりがあれば要配慮者に人がつくようにしたい。 ・大手前高校は柔道場が畳だが、8階武道場は板敷。←倉庫に置き畳がある。
総務部	・防災無線 ・掲示板設置・記入	・使用体験せず。事務室での充電を確認した。 ・掲示板設置せず。特設公衆電話を接続してみた。3つの端子とも導通を確認。導通すると機器にランプがつく。
管理部 設営班	・避難場所開錠・管理 ・開設物資運搬・設営	・全員で、階段とエレベーターに分かれ、地域で鍵を預かっている7階体育館、8階武道場へ移動。 ・7階体育室は開いていて工事中であった。8階武道場を開錠。空調機はない。(公立学校の体育館に空調設備はない) ・7階の男子便所は洋1、和1、女子便所は洋1、和2、8階に便所はない。グラウンド脇は改造工事後確認。
管理部 衛生班	・簡易トイレ設営・点検	・中央区役所の立会指導で簡易トイレを体験。 ・備蓄のトイレセット(消臭凝固剤)は1回ごと使用。小便是複数回の可能性。 ・中央高校の給水方式は受水槽・加圧ポンプ方式なので停電すると水道が使えない。
管理部 電源・照明班	・照明設置・点灯	・使用確認せず。
救護部 消火班	・可搬式ポンプ体験	・北大江公園に移動し、消防署立会指導で可搬式ポンプ庫の可搬式ポンプ起動と防火水槽マンホール蓋開けを体験。 ・可搬式ポンプは消防署が毎月1回点検しているが、油漏れがあったので再点検する。
救護部 救護班	・けが人応急救護・搬送	・日赤指導員の指導で、けが人の応急救護や簡易担架による搬送などを体験。 ・三角巾の使い方や毛布による担架での搬送を習得。三角巾の有用性や毛布担架には6~8人が必要ことが判った。 ・日赤指導員の活動は助け合いの形を伝えることであり、寒暑への対応など様々なテーマの指導を活用してほしい。
食料部	・非常食準備	・使用体験せず。
物資部	・備蓄物資管理 ・携帯スロープ試用	・初動の物資移動と確認のみ。最初に運ぶ物資の黄色テープ表示物は見えるところに置いてあり良かった。

○ 全般

- ・ 7階、8階の避難場所へのものの運搬や、トイレをどうするか、人をどう配置するか、情報をどう伝達するか(トランシーバーが必要ではないか)など、運営マニュアルづくりを始めればわかってくるのではないかと。
- ・ 7階、8階の避難場所だけでなく、1階かその上下に部屋を確保できるよう協議する必要があるのではないかと。
- ・ 小学校が避難所になっている地域と違い、地域の人が校内に入る機会がほとんどないので、その機会づくりを検討する必要がある。
- ・ 非常時にはマンションそれぞれでこの実習のような役割分担が必要であり、マンションごとにも備える必要がある。

○ 総評

- ・ 昨年に比べ参加者が少なく、少人数で密度の濃い実習ができた。実際に避難者が多く集まることを思うと、普段やっている訓練を見直す必要を感じる。7階、8階に避難者がいることを想定した実習を検討する必要がある。そのためには参加者を増やす必要がある。

役割分担記録の PDF はまちづくり実行委員会のブログからダウンロードできます。

(<http://kitaooe.cocolog-nifty.com/blog/files/190716trainig20report.pdf>, <http://kitaooe.cocolog-nifty.com/blog/files/190730training20report.pdf>)